

## 学校給食を小・中学校ともに給食センター化へ方針変更

小・中学校において未永く継続して提供できる完全給食を実現するため、学校給食の方向性を抜本的に見直しました。

- ① 学校給食は、今後小・中学校合わせた給食センター方式（平成35年度目途）に変更します。それまでの間の対応としては現状を維持します。
- ② この方針変更により、平成30年度中に予定していた中学校の選択式デリバリーランチ方式の給食を取り止めることとしました。
- ③ 改修工事を予定していた小学校の給食室については、給食を安定的に提供し、働く人の安心・安全を守るという考えの下、必要な改修及び修繕を実施していきます。

### <ここまでの経緯>

○現状は、小学校は自校直営式の完全給食、中学校はミルク給食を実施。

⇒今後の学校給食のあり方に向けて検討スタート

→平成24年9月～25年4月「学校給食あり方検討委員会」で検討し、平成25年8月に当面の間は現状維持を政策決定。

しかしながら、中学校給食の実施については引き続き検討を要すると判断し、平成25年11月、「寒川町学校給食検討会」を設置し検討開始。

○早期に中学校給食を実施する方法として「選択式デリバリーランチ方式」を基本方針とすることを平成27年2月に政策決定。

○平成29年11月に学校給食についての方針変更を政策判断。

\*判断にあたって考慮した課題

- ① 高齢化と人口減少、町税の減収など町を取り巻く社会情勢の大きな変化。
- ② 長期的な視点を持って対応策を検討し、公共施設等のあり方について方向性を示した「寒川町公共施設等総合管理計画」が平成29年3月に策定。
- ③ 小・中学校における完全給食の20年・30年・40年先まで見とおした持続可能な方法。

※平成29年10月に町内3中学校の1、2年生及びその保護者を対象に実施した「中学校給食に関するアンケート」については、選択式デリバリーランチ方式による中学校給食のニーズを把握するために実施したアンケートであり、学校給食の方針変更を前提としたアンケートではありません。